

# 官公庁と障害福祉サービス事業所の 取引事例のご紹介

長崎県CSR通信  
～ 第97号 ～

県内の障害福祉サービス事業所の中には、清掃や除草作業ができる所もあります。徐々にではありますが、官公庁からの発注が増えてきています。

今回は、大村市が管理している九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の新幹線新大村駅（仮称）予定地の除草業務を、就労継続支援B型事業所のワーキングヒルズ様（大村市）に発注されましたので、その経緯などについて、大村市都市整備部新幹線まちづくり推進室長と、ワーキングヒルズ管理者の矢野様にお話を伺いました。

## ～ 大村市役所が障害福祉事業所に除草業務を発注 ～

障害福祉事業所へ発注の経緯は？

**室長**「障害福祉サービス事業所でも除草業務ができることを、今年の4月に市障害福祉課から聞き、当室で管理している約14,000㎡余りの新幹線用地の除草作業ができないか検討を始めました。他課が花壇の植え込みなどの比較的軽い作業を障害福祉事業所に発注していたのは知っていましたが、正直、除草作業ができるとは全く思いませんでした。」

発注するうえで配慮した点は？

**室長**「8月にかけて暑い日が続くので、作業される利用者の方の体力面を考え、工期を比較的長めに設定させてもらいました。事業所の支援員にアドバイスは？」

**室長**「今年は例年より早く梅雨が明けたうえに、猛暑続きなので、給水、適宜休憩を入れるなど、熱中症対策を万全にしてもらいたいですね。おそらく蛇がいます。長靴軍手は必携です。トイレの確保も大事です。」

今後も、障害福祉事業所へ発注される可能性はありますか？

**室長**「現在は空き地ですので、除草作業はしばらくの間あると思います。工期を守っていただくことはもちろんですが、仕上がり具合も大事です。今回の仕事がうまくいけば、次も検討します。」

広大な用地ですが、本当にできますか？

**矢野管理者**「この用地は私の通勤ルートの途中にあり、以前からこの草刈の仕事がいただけないかと思っていました。今回、雑草を刈りながらチップ状に加工できる最新の草刈機を購入しました。エンジンかけがボタン一つでできるため、片腕に障害のある方でも運転可能になりました。2名の利用者が交替で作業しますし、不測の事態があっても、支援員がフォローできる体制はできています。」

室長のアドバイスを受けて一言

**矢野管理者**「用地内にテントを張って、給水や休憩できるスペースを確保します。近くの県立ろう学校様のご好意により、トイレを拝借することができそうです。最後まで手を抜かず、仕上がりに満足していただけるよう頑張ります。」



作業風景。  
暑い中頑張ってらっ  
しゃいます！



「長崎県CSR通信」 発行部数2,521部

電話095-895-2454 FAX095-823-5082

発行 長崎県障害福祉課（今回の担当：北御門）平成25年7月26日

バックナンバーは、Webで「長崎県CSR通信」で検索！